陸上自衛隊中部方面音楽隊

中部方面音楽隊は、兵庫県伊丹市に所在する方面総監直轄の音楽隊です。

昭和３５年１月に創隊以来、近畿・東海・北陸・中国・四国の２府１９県の広範囲にわたり、年間約１００回に及ぶ演奏活動を行っております。主な活動として、隊員の士気高揚のための演奏をはじめ自衛隊の儀式及び国家的諸行事での式典演奏や定期演奏会、室内楽演奏会、ファミリーコンサートなどの各種演奏会があり、その他にも各府県市町村及び諸団体の公共的行事に参加し中部方面隊の活動を幅広く広報しております。

また、学生を対象とした演奏指導や、レコード会社からの依頼による CD の録音協力にも積極的に取り組んでおり、地域の皆様から親しまれる音楽隊として活動しています。

指揮／隊長　２等陸佐　**柴田 昌宜**

兵庫県加古川市出身。大阪音楽大学卒業（トランペット）、同大学専攻科修了（指揮）。

２００３年、陸上自衛隊に幹部候補生として入隊し中央音楽隊所属となる。２００７年から第１５音楽隊長（那覇）を務めたのち、中央音楽隊運用訓練班長を経て、防衛省陸上幕僚監部広報室で陸上自衛隊の広報を担当。２０１７年3月、第２０代中部方面音楽隊長に着任。

この間、オーストリア・ザルツブルグのモーツァルテウム音楽大学国際マスタークラスにて指揮のディプロマを取得するとともに、東京藝術大学での研修や国際指揮者コンクールへの参加など国内外で数多くの研鑽を積む。米国防総省における米海兵隊軍楽隊との合同演奏会やパプアニューギニア国防軍軍楽隊の育成支援など各国軍楽隊との国際交流にも貢献。また、各レコード会社からの録音依頼による CD も数多く出版され、２０２１年から故郷の加古川観光大使も務めている。

これまでに、指揮を下野竜也、松尾昌美、夏田昌和、P. ギュルケ、作曲法を川島素晴、トランペットを橋爪伴之、D. ドワヨン、竹森健二の各氏に師事。

ソプラノ／３等陸曹　**鵜 真衣**

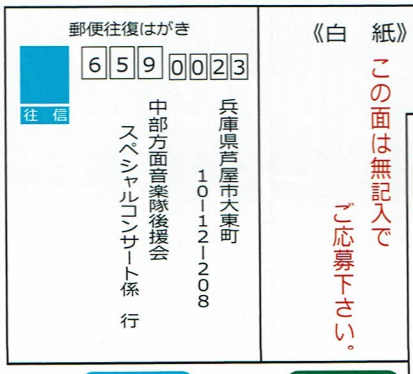
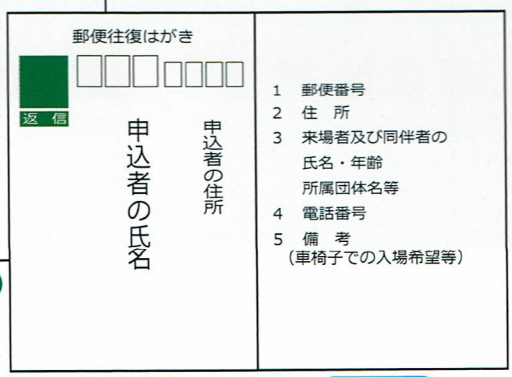
陸上自衛隊中部方面音楽隊のソプラノ歌手。国立音楽大学、洗足学園音楽大学大学院で声楽を専攻し、２０１４年に陸上自衛隊で初めてとなる声楽要員として入隊。音楽隊の定期演奏会をはじめ、日本武道館での自衛隊音楽まつりやプロ野球開幕戦での国歌独唱など数多くの演奏会に出演。各レコード会社への録音協力により、自身がフューチャリングされた CD も多数発売されている。またメディアでは、日本テレビ系列「真相報道バンキシャ」において特集が放送されるなど幅広く活動している。

南日本音楽コンクール優秀賞、若き音楽家のためのコンクール最優秀賞、フレッシュコンサート最優秀賞と審査員グランプリ賞をはじめ数多くのコンクールに入賞。

これまでに声楽を串田淑子、澤畑恵美、中村智子、ウーヴェ・ハイルマン各氏に師事。石川県金沢市出身。

◆お申込み方法

- 往復はがきに右記の要領でご記入の上
  令和４年 1月 28日（金）必着にてご応募下さい。
- 抽選結果の発表は入場券の発送をもって代えさせて頂きます。
- はがき１枚につき 2 名様までの応募ができます。
  （2 名応募の場合は氏名、年齢、を２名分ご記入ください。）
- お申し込みが重複された場合は無効とさせて頂きます。
- 未就学児の入場はお断りしております。
- 応募多数の場合は抽選とさせて頂きます。
- 車椅子でご来場を希望される方はその旨を必ず明記下さい。
- 記載内容が十分でないはがきは返信できない場合があります。
- 会場には専用駐車場がございませんので公共交通機関をご利用下さい。
- 新型コロナウイルス感染症等の影響により、中止又は実施要領を変更する場合がございます。
- お申し込みの個人情報は、本演奏会の目的以外には使用致しません。
- フリクションペンは使用しないでください。



◆「往復はがき」記載要領